

「顎骨えし・顎骨骨ずい炎」を予防しましょう！

(骨粗しょう症は歯医者さんと一緒に治す病気です)



<顎骨えし・顎骨骨ずい炎(がっこつえし・がっこつこつずいえん)って何??>

顎骨(がっこつ)とは上あごや下あごのことで、「顎骨えし」とは、あごの骨が部分的に死んでしまう病気です。そして、その中に口の中のばい菌が入り込み、あごの骨の中心部分(骨ずい)にまで広がると骨ずい炎となり、困った症状が出てきます。

<なぜ骨粗しょう症のくすりで、顎骨えし・顎骨骨ずい炎になることがあるの??>

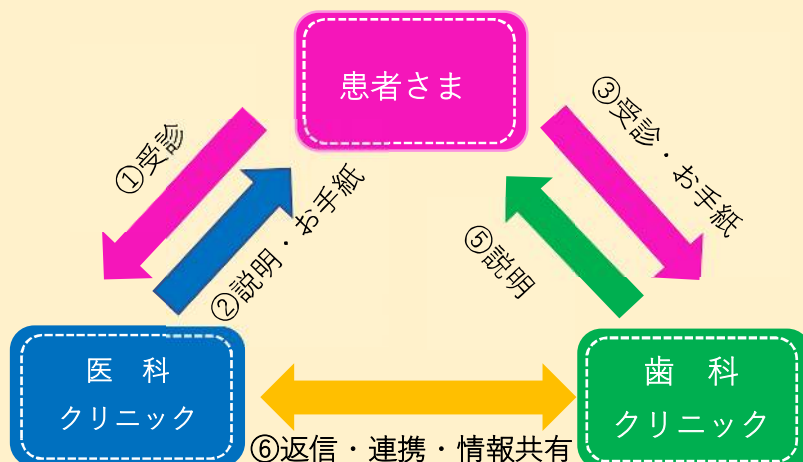
骨粗しょう症のくすりは骨が壊れるのを抑えるため、骨の新陳代謝が抑えられ、骨がばい菌に対して弱くなります。むし歯菌や歯周病菌あるいは抜歯などの際に、口の中のばい菌があごの骨の中に入り込むと骨ずい炎を起こす事があるのです。

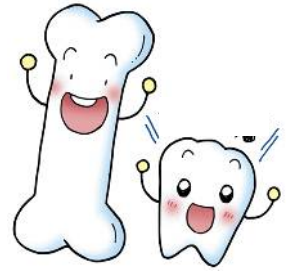
従って、骨粗しょう症の薬をのんでいる間は、常に口の中をきれいに保っておく必要があります。



<お願いします>

1. 歯医者さんへのお手紙を渡しますので、早めにかかりつけの歯医者さんを受診して渡してください。返事はすぐにいただける場合と、後で郵送される場合があります。
2. これからは、歯医者さんとよく相談しながら骨粗しょう症の治療を続けていきます。わからないこと、気になることが少しでもあれば、いつでも何でもきいてください。





<これだけは知っておこう>

1. 顎骨えし・顎骨骨ずい炎の発生頻度
正確には分かっていませんが、1,000人から10,000人に一人発生するといわれています。
2. 歯医者さんで口の中のケアを続けていると、顎骨えし・顎骨骨ずい炎の発生頻度が減ることが期待されます。
3. 骨粗しょう症の薬の一部で顎骨えし・顎骨骨ずい炎が起こる可能性があります。

顎骨えし・ 顎骨骨ずい炎	の み 薬	注 射
可能性ある	フォサマック錠、ボナロン錠 アクトネル錠、ベネット錠 ボノテオ錠、リカルボン錠 ボンビバ錠 など	ボナロン点滴静注、ボンビバ静注 リクラスト点滴静注 プラリア皮下注、イベニティ皮下注
可能性ない	エディロールカプセル、 ワンアルファ錠 など	フォルテオ皮下注、 テリボン皮下注

歯は体の健康にとってとても大切です。歯医者さんで口の中を定期的にケアすると、**顎骨えし・顎骨骨ずい炎を予防できるとともに、脳梗塞・心筋梗塞・糖尿病・認知症も予防できます。**



岐阜県歯科医師会
岐阜県臨床整形外科医会